

ニュース・トピックス

～ 枚方市内公共交通のうごき・2002年・前期～

《京阪バス「星田線」「釈尊寺団地線」でもスルッとKANSAIカード対応》

1月15日より、京阪バス交野・寝屋川・門真の各営業所の路線でも、「スルッとKANSAIカード」「京阪バス専用カード」の取り扱いが始まった。これにより、枚方市内で未導入であった「京阪枚方市駅～藤田川～釈尊寺団地」系統（10号経路）、「京阪枚方市駅～藤田川～四条畷駅」（43・43A号経路）などで、カードでの乗車が可能となった。

《京阪沿線発の大型ノンステップバス 京阪宇治交通が楠葉地区で運行開始！》

3月1日より京阪宇治交通では、床との段差がわずかな大型ノンステップバスを6両導入した。手動スロープ板を用いることで、車椅子利用者も比較的容易に乗り降りできるバリアフリーな車両。約5年ぶりの新車で、緑を基調としたカラーリング、行先表示にLEDを用いるなど、今までの車両にはない新鮮さが感じられる。また、カードリーダーを搭載して、「スルッとKANSAIカード」の使用が可能となった（当面はこの6両のみ対応）。現在、京阪樟葉駅発着の系統を中心に運行されている。

これにあわせて、3月1日午前中京阪樟葉駅にて、京阪宇治交通ノンステップバス発車式が行われた。発車式では京阪宇治交通社長や枚方市・八幡市長の挨拶やテープカット・花束贈呈などが行われた。発車式の後、実際にノンステップバスでのデモ走行が楠葉地区で行われた。

《京阪バス「出屋敷線」など枚方北部地区路線で全面ダイヤ改正！》

京阪バスでは、3月9日より枚方市北部・中部の路線において、増発や始・終発時刻の見直し、JR片町（学研都市）線長尾駅への接続利便の向上、関西外国語大学の中宮学舎への移転等に対応した全面ダイヤ改正が実施された。おもな改正内容は以下の通りである。

招提地区から京阪枚方市駅・京阪樟葉駅方面へ大增発！

京阪枚方市駅～招提～京阪樟葉駅を現行の30分間隔から15分間隔へ倍増（39号経路；旧28号経路）。また、京阪枚方市駅と京阪樟葉駅の終発の繰り下げも実施。

JR長尾駅へ大增発、始終発も延長！

京阪枚方市駅～出屋敷～JR長尾駅の間を現行の30分間隔から15分間隔に倍増（20号経路；旧21号経路）。また、出屋敷・国道招提～JR長尾駅の間は、早朝・深夜に始発終発の繰り上げ・繰り下げもそれぞれ実施（21号経路；新設）。

家具団地からJR長尾駅へ新路線運行開始！

摂南大学薬学部から家具町二丁目経由でJR長尾駅へ新たに運行開始（89号経路）。

京阪樟葉駅～樋ノ上～牧野関係系統

「京阪樟葉駅～樋ノ上・京阪牧野駅・招提口・西船橋～京阪樟葉駅」（旧30A・30B号経路）を「京阪樟葉

駅～樋ノ上・西船橋～京阪樟葉駅」に短絡(87号経路)。また、「京阪樟葉駅～樋ノ上・京阪牧野駅・～摂南大学薬学部」を廃止(旧47号経路)。

その他

・京阪樟葉駅～藤阪ハイツ・JR長尾駅方面ゆきのすべての系統を「ぼえむ南橋」経由に変更(92・93・94・95・97号経路)。

・京阪枚方市駅～片鉾〔かたほこ〕(旧外大前)系統を減回(12号経路;旧23号経路)。

・京阪枚方市駅～藤阪ハイツ快速便を全便各停便に変更(18号経路;旧22号経路)。

・停留所の新設と廃止、名称変更。

【新設】「家具町二丁目南」(22号経路)

【廃止】「大谷橋」(旧50A・50B号経路)

【名称変更】「小松製作所前 関西外大」(12号経路ほか)、「外大前 片鉾」(12号経路)

「小松西門前 外大西門」(11号経路)

また、今回のダイヤ改正に伴い、枚方市南部の、尊延寺・穂谷・天王・新田辺方面行き系統など、枚方営業所内のすべての路線の系統番号も変更されている。

《京阪バス「枚方高槻線」で公共交通優先システム可動開始!》

京阪バスでは、3月25日より、交通需要マネジメント(TDM)の一環として、大阪府警察本部・大阪府土木部と共同で、大阪府道京都守口線、一般国道170号の高槻方面ゆきにおいて公共車両優先システム(PTPS)の導入を始めた。このシステムは、「バスの接近による進行方向の信号の制御」「バス専用レーンの設置」を大きな柱として、バスの所要時間の短縮や定時性の改善を図るもの。バスの利便性が向上することにより、少しでも自家用車などから公共交通機関へ転換してもらうことを目的としている。なお、京阪バスへの公共車両優先システム導入は、大阪府内では南海バス(府道大阪和泉泉南線)に続いて2箇所目の導入となる。

【参考】枚方市内から高槻方面への系統

1号経路	京阪枚方市駅～(国道170号線)～阪急高槻
1号経路	京阪枚方市駅～(国道170号線)〔快速・ノンストップ〕～阪急高槻
1号経路	京阪枚方市駅～(国道170号線)～JR高槻(阪急高槻は経由せず)
1号経路	京阪枚方市駅(国道170号線)・阪急高槻 JR高槻
1A号経路	京阪枚方市駅～(国道170号線)・阪急高槻・市役所前～JR高槻
2号経路	香里団地〔藤田川・新香里〕～京阪枚方市駅・(国道170号線)～阪急高槻

《枚方市100円バス、本格運行開始!》

枚方市駅から市民病院・星ヶ丘病院などを結んで枚方市駅へ戻ってくる循環バス(枚方市100円バス)の本格運行が、3月25日より始まった。運行は日中のみで、循環型で左回り・右回りを交互に35分間隔で運行される。4月1日からは左回り系統に「官公庁団地」停留所が追加された。所要時間は1周約27分。料金は大人・小児ともに均一100円。現金のみの取り扱いのため、「スルッとKANSAIカード」「京阪バス専用カード」「枚方市内1日乗車券」などは利用できない。車両はすべて、床が低く乗り降りしやすい大型ワンステップバスが使用さ

れている。京阪バスが担当。

《京阪バスとJR片町（学研都市線）線の連絡定期券を販売開始！》

京阪バスでは、4月1日より京阪バスとJR片町（学研都市）線「長尾」「津田」「河内磐船」「星田」「東寝屋川」「忍ヶ丘」「四条畷」駅で接続する連絡定期券の取り扱いを始めた。連絡定期券の運賃は京阪バスとJRのそれぞれ定期運賃の合算額となる。3月25日からJRの主要駅定期券販売所で発売（京阪バスの定期券窓口では発売しない）。

《京阪バス枚方尊延寺線の一部経路変更、京阪奈病院へのアクセス改善！》

京阪バスでは、4月15日より枚方尊延寺線の「京阪枚方市駅～四辻・藤阪～JR長尾」系統（64号経路；旧11号経路）について、昼間の一部便（平日8往復・土・休日の4～5往復）のルートの一部変更、63号経路として京阪奈病院への乗り入れを開始した。乗り入れ便はおおむね60分間隔。運賃は均一220円、「スルッとKANSAIカード」「京阪バス専用カード」や「枚方市内1日乗車券」でも利用できる。車両は、床が低く乗り降りしやすい大型ワンステップバスなどが使用されている。枚方営業所が担当。

《山之上・東中振地区で小型バス路線を2路線新設！》

京阪バスでは、4月15日より京阪沿線の住宅街と京阪の駅とを結ぶ小型バスの運行を枚方市南部の2つの地区で開始した。いずれの地区も駅からは少々離れているが、周辺の道路が比較的狭いため今までバスの乗り入れが困難であった地区で、小型バス使用により運行を実現している。路線概要は次の通り。

【“い”（東中振）系統】（香里ヶ丘八丁目～光善寺駅～京阪香里園）

東中振地区と京阪光善寺・香里園をダイレクトに結ぶ系統。日中は60分間隔で、朝夕ラッシュ時間帯は14～30分間隔で運行。所要時間は片道で約12分。

【“ろ”（山之上）系統】（枚方公園駅前～山之上五丁目～京阪枚方市）

京阪枚方公園駅前から山之上地区を巡回して京阪枚方市駅へと向かう系統。日中は60分間隔で運行されるが、朝・夕ラッシュ時は運行されない。所要時間は山之上地区から京阪枚方公園駅前まで約6分、京阪枚方市駅まで約12分。

いずれの路線も料金は均一220円、「スルッとKANSAIカード」「京阪バス専用カード」や「枚方市内1日乗車券」でも利用できる。狭路走行のため、新製の小型バスが導入された（ステップリフト付）。いずれも、香里団地営業所が担当。

（文責：畑中）



“い”（東中振）系統

撮影：畑中